

製品名: mAChR M4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13545**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000
分子量	53kDa

抗原情報

遺伝子名	CHRM4
別名	CHRM4; Muscarinic acetylcholine receptor M4
遺伝子 ID	1132.0
SwissProt ID	P08173
免疫原	抗血清はヒト CHRM4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 236-285

背景

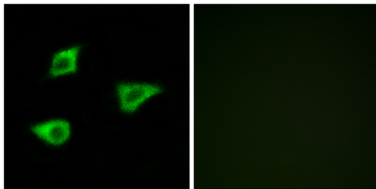
ムスカリン性コリン受容体は、G タンパク質共役受容体のより大きなファミリーに属します。これらの受容体の機能的多様性は、アセチルコリンの結合によって定義され、アデニル酸シクラーゼ阻害、ホスホイノシチド分解、カリウムチャネルの調節といった細胞

応答を含みます。ムスカリン性受容体は、中枢神経系および末梢神経系におけるアセチルコリンの多くの作用に作用します。この受容体の臨床的意義は不明ですが、マウスを用いた研究では、その機能がアデニル酸シクラーゼ阻害と関連付けられています。[RefSeq 提供、2008年7月],機能: ムスカリン性アセチルコリン受容体は、アデニル酸シクラーゼ阻害、ホスホイノシチド分解、Gタンパク質の作用を介したカリウムチャネルの調節など、様々な細胞応答を媒介します。主要な伝達効果はアデニル酸シクラーゼ阻害です。 , 類似性: Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属します。 ,

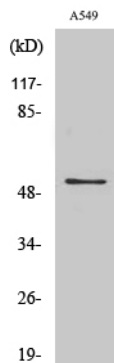
研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;アクチンと細胞骨格を調節します。

画像データ



CHRM4抗体を用いた LOVO 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



mAChR M4 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析